

Japan-Hong Kong Seminar on Underground Construction Technology 2010

DATE

22 January, 2010 9 : 15~12 : 40

SEMINAR VENUE

Hanshin Expressway Engineering Company Limited
Toua Bldg. 12F, 4-5-7, Minami-honmachi, Chuo-ku, Osaka 541-0054, Japan
Tel: 06-6120-2203

SEMINAR SCHEDULE

- 9 : 15~9 : 25 Welcome address
(T. Hashimoto (GRI), T. Nanbu (Hanshin Expressway))
- 9 : 25~10 : 05 Introduction of Hanshin Expressway group and underground constructions
in Hanshin Expressway
(Y. Adachi (Hanshin Expressway Engineering))
- 10 : 05~10 : 35 Introduction of GRI group and geo-information database system
(J. Nagaya (GRI), K. Yamamoto (GRI))
- 10 : 35~11 : 05 Recent TBM technology with non-circular tunnel etc.
(T. Hashimoto (GRI), S. Wada (Daiho Corporation))
- 11 : 05~11 : 15 Coffee break
- 11 : 15~11 : 45 Construction projects and topics of geotechnical engineering in Hong Kong
(W. K. Pun (HKIE))
- 11 : 45~12 : 15 Particular technology on the underground construction
(T. Furusono (Nishimatsu Construction Co., Ltd.)),
(H. Onishi (Maeda Corporation))
- 12 : 15~12 : 35 Discussion
- 12 : 35~12 : 40 Closing address (W. K. Pun (HKIE))
- 13 : 00~14 : 30 Welcome reception with lunch (New Oriental Hotel)

SPONSORED BY

Hanshin Expressway group
Geo-Research Institute group
Hong Kong Institution of Engineers (HKIE) Geotechnical Division

CONTACT

Y. Ueta, Geo-Research Institute
TEL: 06-6539-2971 E-mail: ueta@geor.co.jp



橋本所長歓迎の挨拶



セミナーの状況



HKIE の参加者

2010年1月23日

香港工学会地盤工学部門の訪日ツアーと日本香港地下工事技術に関するセミナー2010

報告

<訪日ツアー>

- ・香港工学会（HKIE）地盤工学部門が主催する日本での技術研修ツアー
- ・日程は、1/17～1/22の間に、つくば、東京、名古屋、大阪等を訪問
- ・目的は、日本の地盤工学における最先端の技術や経験を香港の技術者に学ばせること
- ・主たるテーマを社会基盤整備（特に道路、鉄道、雨水・下水施設のためのトンネル技術）と地すべり対策・斜面安定化技術として、関連する大学、研究所、建設現場等を訪問
- ・団長は、地盤工学部門委員長の W. K. Pun 氏
- ・参加者は39名で、主に香港の政府、建設会社、建設コンサルタントに属する技術者
- ・今回の訪日ツアーは、「日本における地盤工学の最先端技術と経験に関する研究（Study on State-of-the-art Technology and Experience on Civil and Geotechnical Engineering in Japan）」プロジェクト活動の一環であり、香港特別行政区政府の PSDAS（Professional Services Development Assistance Scheme）による資金援助を受けている。

<セミナー>

- ・ツアー最後のイベントとして、1/22に阪神高速道路グループと地域地盤環境研究所(GRI)グループが主催して、「日本香港地下工事技術に関するセミナー2010」を阪神高速技術会議室で開催
- ・セミナーの目的は、日本における地下工事技術等の香港へのアピールと、日本と香港の技術者交流
- ・参加者は、香港側から39名、日本側から49名の合計88名
- ・日本側の参加者は、阪神高速道路、建設会社、建設コンサルタント等の技術者
- ・最初に、(株)地域地盤環境研究所橋本所長と阪神高速道路(株)南部常務取締役による歓迎の挨拶
- ・続いて8件の技術発表
 - 阪神高速道路の紹介と阪神高速道路における地下工事（阪神高速技術 足立氏）
 - GRIの紹介（GRI 長屋氏）
 - 関西における地盤情報データベースシステム（GRI 山本氏）
 - 日本における最近のTBM技術（GRI 橋本氏）
 - 地下空間の有効利用－非円形シールド工法とニューマチックケーソン工法（大豊建設 和田氏）
 - 香港における建設プロジェクトおよび地盤工学上のトピックス（HKIE Pun氏）
 - 硬岩を対象としたTBM技術（西松建設 古園氏）
 - 泥水シールドトンネル工法技術（前田建設工業 大西氏）
- ・各々の発表後およびすべての技術発表が終わった後に質疑応答を行い活発な討議
- ・香港工学会地盤工学部門委員長の Pun 氏から、セミナー開催に対する感謝と閉会の挨拶
- ・最後に、香港側から主催者の阪神高速道路と地域地盤環境研究所に記念品の贈呈
- ・セミナー終了後、昼食を兼ねた歓迎会を実施し、情報交換およびさらなる交流を深めた。

－以上－